



エコアクション21

環境活動レポート

活動期間:2015年4月～2016年3月



 **千葉スバル自動車株式会社**

作成日:2016年06月30日

【1】会社概要

(1) 事業所名

千葉スバル自動車株式会社



(2) 所在地

千葉県千葉市美浜区新港176-2

(3) 代表者氏名

代表取締役社長 山本 本山

(4) 環境管理責任者及びEA21事務局連絡先

環境管理責任者	取締役 管理本部副本部長	山本 喜久
EA21推進事務局	総務部 部長	中嶋 弘幸
	総務課 課長	根本 雅之
	お客様サポート室 室長	椎名 功
	経理課 課長	坂井 精一
	業務課	千葉 英一郎
	IT企画推進課	宮野 友厚
	人事教育課	石川 智

連絡先 電話 043-243-2292
FAX 043-203-0120
URL <http://www.chibasubaru.com/>



(5) 事業の内容

新車・中古車の販売
部品・用品の販売
点検・整備

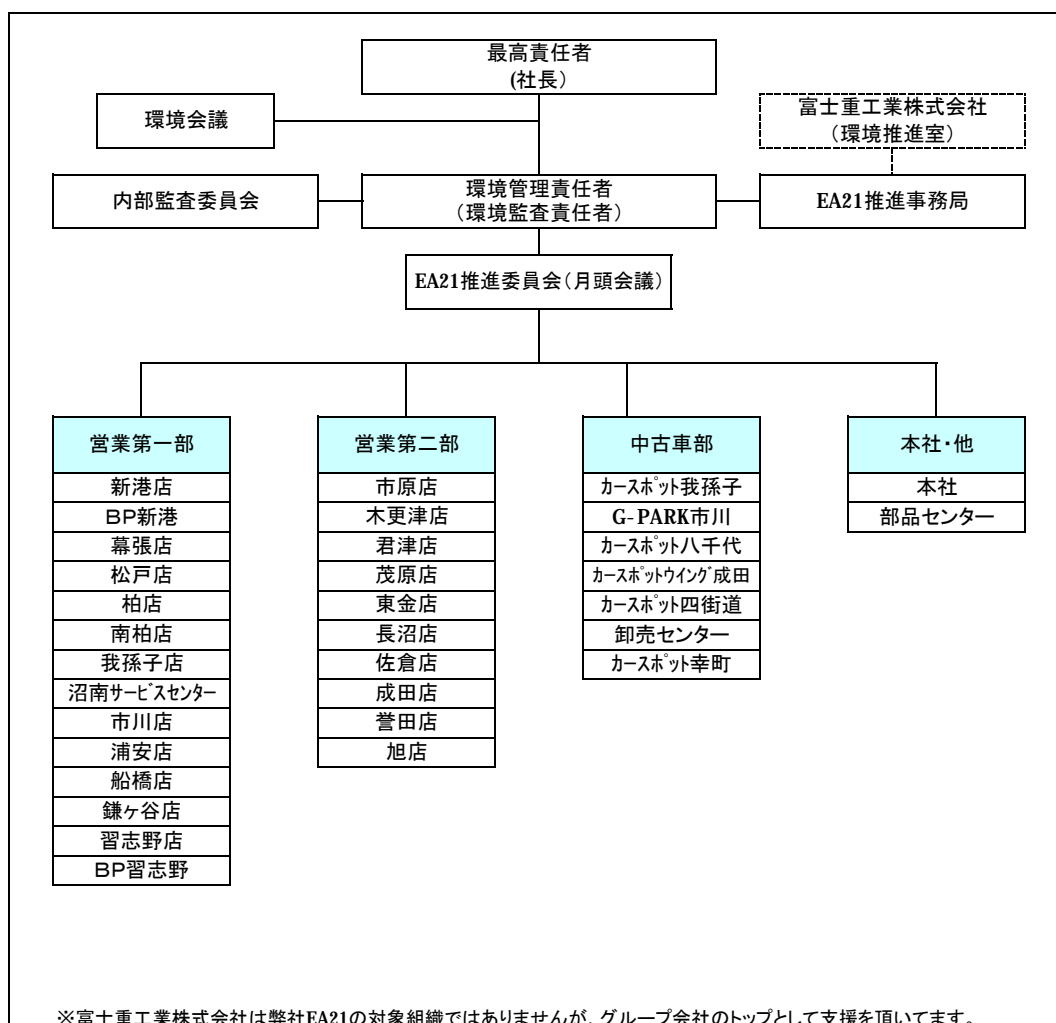
钣金塗装
自動車リース
損害保険代理店業務

(6) 事業の規模

・売上高	251億円	(2015年度)
・新車販売台数	6,800台	(2015年度)
・中古車販売台数	5,779台	(2015年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	491名	(2016年6月30日現在)
・店舗数	本社	1
	新車販売	21
	中古車販売	8
	その他	5

(7) EA21 推進組織図

※ 千葉スバル自動車株式会社は全事業所・全部門にて
エコアクション21に取り組んでいます。



(8) EA21対象拠点一覧

千葉スバル自動車は全組織・全活動を対象としてエコアクション21に取り組んでいます。

事業所名	郵便番号	住所	責任者	電話番号	FAX番号	面積(坪)		正社員				非正規	総合計	組織区分
						土地	建物	セールス	メカニック	その他	総数			
1 本社	261-0002	千葉市美浜区新港176-2	中嶋 弘幸	043-243-2292	043-203-0120	2503.4	1014.9			64	64	1	64	A
2 新港店			景山 直人	043-242-5111	043-238-1350			10	10	10	30			
3 B/P新港			小川 信浩		043-238-1351				5	2	7			
4 部品センター			山本 勝	043-242-5161	043-204-7058					12	12			
5 幕張店	262-0032	千葉市花見川区幕張町5-417-354	荒川 幸一	043-213-3800	043-213-3805	1000.1	458.5	5	5	5	15		15	C
6 松戸店	271-0053	松戸市中根156-1	小野寺 猛	047-363-6111	047-330-1187	1022.3	490.2	7	6	6	19	1	20	C
7 柏店	277-0871	柏市若葉91-16	谷 勇輝	04-7133-7231	04-7140-8054	825.2	193.7	8	6	9	23		23	C
8 南柏店	277-0856	柏市新富町1-1-11	高橋 康	04-7147-5900	04-7147-5905	930.2	333.7	5	5	5	15		15	C
9 我孫子店	270-1152	我孫子市寿2-25-47	渡邊 正洋	04-7185-5050	04-7181-1137	316.7	121.2	4	1	4	9		9	C
10 沼南サービスセンター	277-0922	柏市大島田127-1	岡本 尚夫	04-7193-3700	04-7193-3710	222.6	109.8		5	1	6		6	D
11 市川店	272-0015	市川市鬼高4-7-5	村松 秀貴	047-378-1261	047-320-3241	700.0	332.3	8	7	7	22	1	23	C
12 浦安店	279-0004	浦安市北栄4-20-8	我妻 貴臣	047-353-2111	047-390-6450	435.3	260.9	5	5	6	16		16	C
13 船橋店	273-0001	船橋市市場2-9-19	神谷 剛	047-423-6631	047-426-8320	656.7	196.9	7	7	6	20		20	C
14 鎌ヶ谷店	273-0115	鎌ヶ谷市東道野辺5-9-19	松崎 陽祐	047-442-1211	047-498-5055	1068.0	524.0	6	5	4	15		15	C
15 習志野店	275-0001	習志野市東習志野6-16-43	伊沢 太郎	047-473-2171	047-470-1455	999.2	481.3	7	7	8	22		22	C
16 B/P習志野			仲野 正浩						5	2	7		7	E
17 市原店	290-0050	市原市更級2-3-1	上田 哲也	0436-21-7611	0436-20-1121	1324.0	595.0	8	5	6	19		19	C
18 木更津店	292-0014	木更津市高柳952	遠藤 辰一	0438-23-0321	0438-20-1039	986.0	193.6	10	5	6	21		21	C
19 君津店	299-1163	君津市笠師4-2-7	小林 健策	0439-55-7200	0439-50-1288	485.4	137.0	3	5	3	11		11	C
20 茂原店	297-0074	茂原市小林1732	廣田 芳和	0475-22-5271	0475-20-1090	632.2	209.4	4	4	5	13		13	C
21 東金店	289-1327	山武市姫島141-1	大塚 智史	0475-82-7221	0475-80-1005	591.4	167.1	5	5	4	14		14	C
22 長沼店	263-0001	千葉市稲毛区長沼原町725	菊地 猛	043-250-3791	043-298-9045	966.4	342.7	5	4	5	14	1	15	C
23 佐倉店	285-0837	佐倉市王子台5-4-1	玉垣 貴宏	043-462-5500	043-460-1575	384.5	202.6	5	5	5	15		15	C
24 成田店	286-0046	成田市仲11-31	長野 正幸	0476-22-6811	0476-20-1043	1032.3	210.5	8	7	8	23	1	24	C
25 誉田店	266-0005	千葉市緑区誉田町1-392-3	下川 久幸	043-292-6601	043-226-9032	429.1	178.0	4	5	4	13		13	C
26 旭店	289-2535	旭市川口3494-6	成毛 健一	0479-64-2111	0479-60-1031	304.7	153.3	1	2	5	8		8	C
27 カースポット我孫子	270-1177	我孫子市柴崎28-3	押切 裕之	04-7183-0611	04-7183-7282	1004.3	60.5	3	2	1	6		6	C
28 G-PARK市川	272-0015	市川市鬼高4-7-4	小林 満	047-378-6021	047-300-8575	703.0	55.2	3			3		3	B
29 カースポット八千代	276-0037	八千代市高津東4-7-11	菅野 英俊	047-487-0486	047-487-0520	608.0	67.6	3	1	1	5		5	C
30 カースポットウイング成田	286-0029	成田市ウイング土屋113	瀧澤 昌吾	0476-22-8810	0476-22-8911	461.9	69.3	3	1	1	5		5	C
31 カースポット四街道	284-0041	四街道市上野346-14	栗山 浩一	043-433-8500	043-433-8501	2330.8	23.5	3			3		3	B
32 卸売センター			福士 雅聡	043-433-8505	043-433-8501		17.2	2		5	7		7	A
33 カースポット幸町	261-0001	千葉市美浜区幸町2-20-32	木下 真哉	043-243-1321	043-243-2625	752.9	176.3	4			4		4	B
								146	130	210	486	5	491	

組織区分の意味

- A=オフィス業務(事務所業務)
- B=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)
- C=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務
- D=オフィス業務+整備業務
- E=オフィス業務+钣金塗装

※社員数は平成28年06月30日現在



【2】環境方針

《基本理念》

当社はスバル車の販売やサービス活動の環境影響を常に考え、車が人や社会や自然とよく調和するよう、環境保全活動を進めます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO₂削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境に配慮した車の販売、サービスの提供
 - ⑦拠点周辺の清掃を積極的に行ない、地域の環境改善に貢献する
5. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。



平成22年4月1日制定

（平成28年4月1日改訂）

千葉スバル自動車株式会社

代表取締役社長 山本 本山

【3】環境目標及びその実績

当社は地球環境に配慮し、CO2排出量の少ない自然エネルギー発電の電力会社より電力を購入しています。

【評価】 ◎110%以上達成、○100%以上達成、△95%以上で少々未達、×94%以下で未達】

項目	年度	単位	2013年度実績 (基準年度)	2014年度目標 (前年度)	2015年度目標	2015年度実績	評価 [目標達成率]	2016年度目標 (次々年度)	
① 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量	kWh	2,520,897	2,495,688	2,470,479	2,715,027	×	2,445,270	
	(CO2排出量)	(kg-CO2)	(27,730)	(27,453)	(27,175)	(29,865)	91%	(26,898)	
	燃料	ガソリン	L	227,890	225,611	223,332	196,040	◎	221,053
		(CO2排出量)	(kg-CO2)	(529,083)	(523,792)	(518,501)	(455,138)	114%	(513,210)
		灯油	L	2,929	2,899	2,870	1,497	◎	2,841
		(CO2排出量)	(kg-CO2)	(7,299)	(7,224)	(7,152)	(3,730)	192%	(7,080)
		軽油	L	34,475	34,130	33,785	31,619	○	33,440
(CO2排出量)		(kg-CO2)	(90,474)	(89,569)	(88,664)	(82,979)	107%	(87,758)	
LPG	kg	24,289	24,043	23,803	23,462	○	23,560		
(CO2排出量)	(kg-CO2)	(72,915)	(72,176)	(71,455)	(70,432)	101%	(70,726)		
都市ガス	m ³	134,544	133,198	131,853	144,237	×	130,507		
(CO2排出量)	(kg-CO2)	(283,677)	(280,839)	(279,175)	(304,114)	91%	(275,165)		
【二酸化炭素(CO2)排出量合計】		kg-CO2	983,447	973,600	963,775	916,393	○	953,938	
							105%		
②水使用量の削減		m ³	21,593	21,377	21,161	21,992	△	20,945	
							96%		
③産業廃棄物排出量の削減		t	621.62	615.40	609.18	671.37	×	602.97	
							91%		
④化学物質管理の推進 (PRTR法、VOC規制対応)			使用量管理	使用量管理	使用量管理	使用量管理	○	使用量管理	
⑤グリーン購入の推進 (事務用品、コピー用紙)		%	100	100	100	100	○	100	
⑥ 環境業配に 応おける 推進	エコカー販売比率向上(*)	%	97.2	97.2	97.2	96.5	△	97.2	
							99%		
	エコタイヤ販売促進	本数	16,210	16,372	16,534	14,143	×	16,696	
							85%		
運転支援システムEyeSight 搭載車の販売促進	台数	4,327	4,370	4,413	4,989	◎	4,456		
						113%			
エンジンオイルライン洗浄システム スラッジナイザーの販売促進	台数	—	—	—	7,186	◎	—		
⑦紙(コピー用紙)使用量削減		枚	3,927,500	3,888,225	3,848,950	4,527,500	×	3,809,675	
							85%		

※2014年度以降の環境目標(中期3か年)は、2013年度の実績値を基準年度とし、2014年1%減、2015年2%減、2016年3%減と決めました。

*エコカー：低排出ガス認定車(国土交通省規定による)

【CO2排出係数】

電気：0.011kg-CO2/kWh ※電気事業者：プレミアムグリーンパワー株式会社<<平成26年度排出係数>>
 ガソリン：2.32166kg-CO2/L
 灯油：2.49193kg-CO2/L
 軽油：2.62434kg-CO2/L
 LPG：3.00196kg-CO2/kg
 都市ガス：2.10843kg-CO2/m³

○ 2014年10月より、エンジンオイルライン洗浄システム『スラッジナイザー』を導入しました。
 ・エンジンオイルの性能を最大限に引き出す事で燃費の向上(ガソリン使用量の削減)に繋がります。
2015年度実績：7,186台 (2014年からの取組の為、努力目標)

○ 運転支援システム『EyeSight』装着車の販売を促進し交通事故削減に取り組みました。
 ・交通事故を減らす事で産業廃棄物の削減及び钣金修理に関わるCO2排出の削減に繋がります。
2015年度実績：4,989台 (目標：4,413台) **達成率113%**



【4】環境活動計画の内容と取組結果の評価 及び 今後の取組

【評価 ◎大幅に達成、○予定通りに実施 ×予定以下】

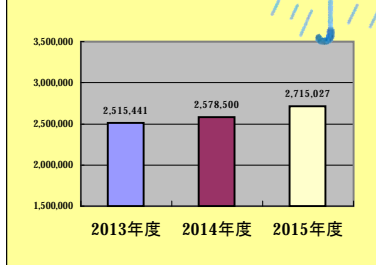
項目	活動内容	評価	評価及び今後の取組
①二酸化炭素排出量の削減	1) CO2排出量の少ない自然エネルギー発電会社から購入 2) 電気、燃料とも、売上高比少なく抑え、合計量の削減に努める	◎ ○	・今後ともCO2少ない電気事業者との契約を継続する
	電気使用量の削減 1) 節電への取組強化(意識向上)の継続 2) 冷暖房の室温管理 3) クールビズ期間の拡大(6月～9月⇒5月～10月)	○ ○ ○	・業務量増加や盗難対策により目標未達成 ・節電の啓蒙強化や照明LED化の拡大等図る
	燃料使用量の削減 1) 効率的な燃料の使用 2) エコ運転の推進 3) 冷暖房の室温管理(都市ガス) 4) クールビズ期間の拡大(都市ガス)	○ ○ ○ ○	・都市ガスのみ未達成 ・今後、省エネの意識向上を図る
②水使用量の削減	1) オフィスでの節水活動の推進 2) 車両洗車時の節水	○ ○	・洗濯機の活動が増しているため目標未達成 ・今後とも洗車時の節水活動継続
③産業廃棄物の削減	1) 廃棄物の分別再資源化の強化 2) 自動車廃棄部品のリサイクル化、有価化の促進(バンパー、バッテリー、他) 3) 排出量削減の取組	○ ○ ○	・車の整備在庫台数が増加したため、産業廃棄物排出量が目標未達となった ・車整備での排出物、更に有価化への分別強化して行く
④化学物質の管理推進	1) PRTR対象化学物質の使用量管理	○	・法届出対象でないが、一覧表にて管理
⑤グリーン購入の推進	1) 事務用品(コピー用紙、ボールペン等)のグリーン対象の優先的購入	○	・コピー用紙は100%実施継続で管理 ・その他の事務用品もグリーン対象を優先購入
⑥事業における環境配慮	エコカー販売比率向上 1) 低排出ガス認定車(国土交通省規定による)の売上向上	◎	・特殊車種除いて殆どエコカーであるが今後ともエコカー販売を強気に進めて行く
	エコタイヤ販売促進 1) エコタイヤ販売の拡大	○	・目標は未達だが、多くのエコタイヤを販売
	運転支援システムEyeSight搭載車の販売促進 1) 運転支援システム「EyeSight」装着車の販売促進により交通事故削減に結びつけ、結果的に環境負荷削減	◎	・販売実績、目標達成率113%で好調
	エンジンオイルライン洗浄システムスラッジナイザーの販売促進 1) エンジンオイルライン洗浄により燃費向上し、結果的にガソリン使用の軽減	◎	・2014年からの導入なので目標は無いが今後とも実施台数を増やしていく。
⑦紙(コピー用紙)使用量削減	1) 電子文書会議(i-pad導入) 2) ITやデータによる管理推進 3) コピー削減の意識継続	○ ○ ○	・ペーパーレス化に努めたが、業務拡大で目標未達、今後とも左同の活動継続

【次年度の取組内容について】

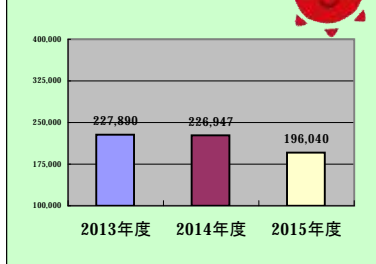
- 次年度(2016年)環境目標は、2013年度の実績を基準値として策定した中期計画の通りとする。
但し、昨年度(2015年度)目標との乖離が大きかった『電気』『都市ガス』『水』『紙』に関しては昨年度実績をベンチマークとして、それを超えないよう特に活動を強化する。
- 環境活動、社会貢献活動の一環として、環境省主催の「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」に参加する。
- 新規移転オープンや拠点リニューアルの際、積極的に省エネ設備を導入する。

【5】環境活動の成果

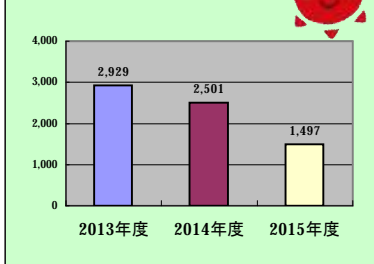
電気使用量 (kwh)



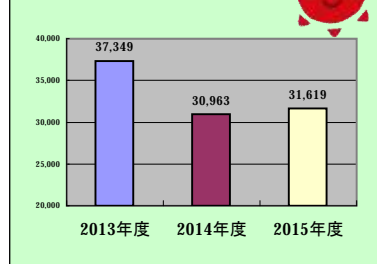
ガソリン (ℓ)



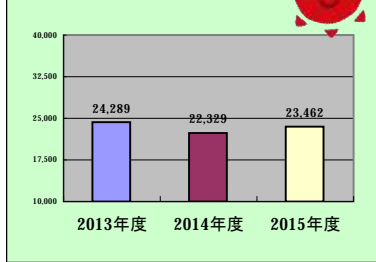
灯油 (ℓ)



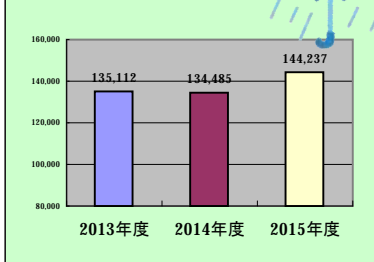
軽油 (ℓ)



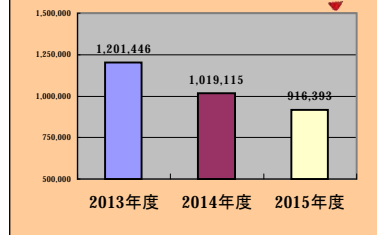
LPG (kg)



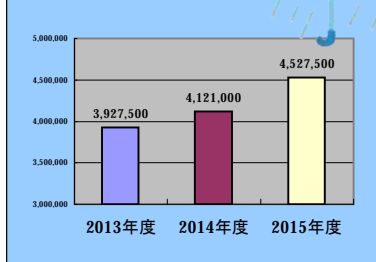
都市ガス (m³)



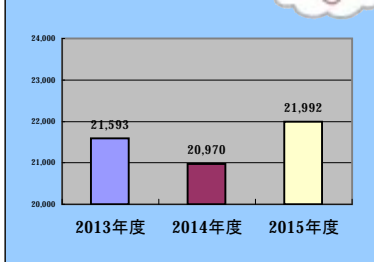
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)



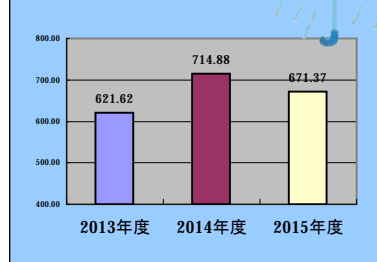
紙・コピー用紙 (枚)



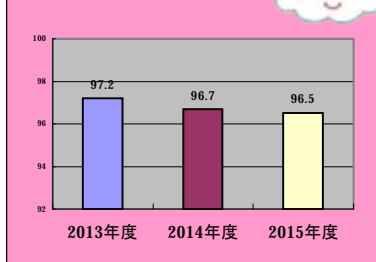
水使用量 (ℓ)



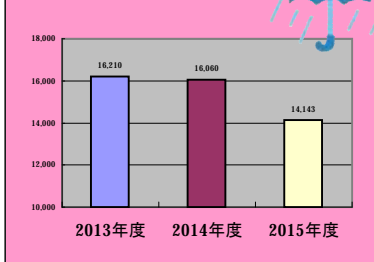
産業廃棄物 (t)



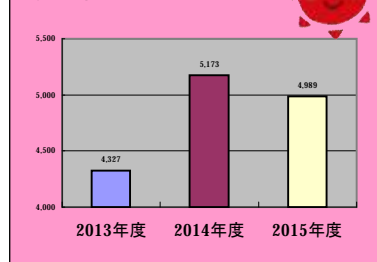
エコカー販売比率 (%)



エコタイヤ販売 (本数)



EyeSight販売 (台数)



【6】環境改善活動・社会貢献活動

各自動車販売・整備拠点での環境改善・社会貢献活動の推進



各拠点では周辺の清掃活動を定期的
に実施しております（写真は市原店）



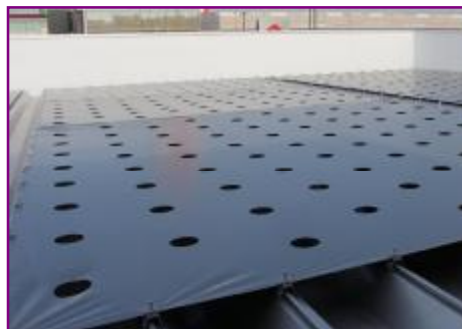
小さなゴミも
残らず拾いました！

2015年5月31日、「ごみゼロクリーン
デーポイ捨てやめようキャンペーン」に
新入社員が参加し、千葉駅周辺の清掃活
動を実施しました。



新店舗オープンでお客様も
大満足頂いています！

2015年10月16日、市原店が移転新築
オープンしました。こちらは全館LED照
明を採用し、通常の蛍光灯と比べ40%～
50%の消費電力を削減します。



また市原店には屋根の表面に「冷えルー
フ」を採用し、日射による温度上昇を抑
制します。屋根裏温度で5～10℃、室内温
度で2～3℃下げる効果があります。

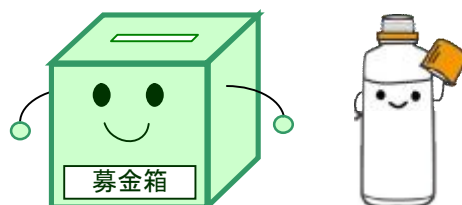


来店されるお客様
からも多くの
キャップを頂いて
ます。

全拠点にエコキャップ回収BOXを設
置。ペットボトルキャップのリサイクル
化を推進しています。キャップ800個
でポリオワクチン1人分が購入でき、ま
た6.2kgのCO₂が削減できます。NPO
法人エコキャップ推進協会に80,668個
のキャップを送付しました。（2015年
4月～2016年3月）



従業員より募金を集め、「あしなが育英
会」に177,499円寄付致しました。



【7】環境関連法規等の遵守状況の確認、 及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規(遵守評価 2015.04.28)

主な適用法規	要求事項	順守状況
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗浄装置等)	○
浄化槽法	浄化槽設置の届出、年1回の定期検査の実施	○
下水道法	排水施設の設置義務、特定施設の届出	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出	○
フロン回収破壊法	特定製品が廃棄される際のフロン類の適正な措置	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、 廃棄物の表示・保管管理、マニフェストの集計・報告	○
騒音規制法	特定施設の届出 (自動車自動洗浄装置、コンプレッサー等)	○
振動規制法	特定施設の届出 (自動車自動洗浄装置、コンプレッサー等)	○
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、 基準値以上の取扱量の場合に行政に報告	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
自動車NOx、PM法	自動車排出NOx及びPM排出抑制に必要な措置、届出	○
以下は千葉県、各自治体の条例		
各市環境保全条例施行規則	特定施設「圧縮機」の規制対象出力(上乗せ条例)	○
千葉県ディーゼル条例	特定自動車の粒子状物質減少装置の装着	○

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。

【8】代表者による評価と見直し

外部環境の変化に応じて内部環境を適切に整え、本業を通していかに環境に寄与していけるか、環境会議・拠点啓蒙を通じて取り組んでいくこと。
また、次期中期計画の際の目標設定について、業績の好転や新拠点の立ち上げなど、環境変化を踏まえて策定すること。